

令和 6 年度 みのりの里共和 事業計画

特 別 養 護 老 人 ホ ー ム

○ 基本理念

入居者と職員がお互いに時間の共有ができ、「笑いと夢がある心のふれあうホーム」をめざし、社会福祉法・老人福祉法の基本理念に基づき、「共遊」・「共楽」・「共和」を理念として、入居者の自立支援に努めます。
(ともに遊び、ともに楽しみ、ともに和み)

○ 基本目標

- ① 大きな声で挨拶をしましょう。
- ② 言葉づかいに気をつけましょう。
- ③ いつも笑顔ですごしましょう。
- ④ 聞き上手になりましょう。
- ⑤ 整理・整頓に努めましょう。

1. 基 本 方 針

- (1) 入居者一人ひとりの尊厳を保持しつつ、施設サービス計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭においた、サービスの提供に努めます。
- (2) 入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮し、安心と安らぎの場となる支援体制の確立に努めます。
- (3) 各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるよう支援するとともに地域や家庭との結びつきを重視した運営に努めます。

2. 特別養護老人ホームの4ユニット体制継続について

日本ではじめて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから丸4年余りが経過しました。この間に多くの高齢者施設や福祉施設などで新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生しました。みのりの里においても、二度の集団感染が発生しました。

令和5年5月には感染症法上の分類が5類に移行されましたが、今なお新型コロナウイルスの感染者が新たに発生している状況にあります。

こうしたコロナ禍の影響もあり、多くの高齢者施設等の従事者が離職や転職などで介護職員欠員の状況が進みました。みのりの里においても、介護職員の欠員が4名～6名の状況が続き、令和4年4月から臨時的に1ユニット閉鎖を行い、4ユニット体制で特養居室41室、短期入所5室での運営を行って来ました。加えて、新規特養入所申込み待機者についても減少傾向にあり、入居者数が40名前後の状況が続き、現在も4ユニット体制を継続しています。

以上の状況から、当該4ユニット内にある予備室4室を特養居室に転用し特養45名、短期入所5名による4ユニット体制を今後も継続することと致しました。

また、4ユニット体制で運営することにより、介護職員定数についても減員の見直しを行うことが可能となり特養運営収支の改善を図るものであります。

3. サービスの提供

入居者の人格及びプライバシーの確保に十分配慮しながら、その有する能力に応じて、自らの生活様式及び生活習慣に沿って自律的な日常生活を営むことが出来るとともに、入居者等に信頼される処遇の充実に努めます。

サービスの提供にあたっては、感染症の発生状況により感染防止対策のため職員はマスク・アイシールド（フェイスシールド）等を着用して支援します。

（1）生活支援

- ① 自立をめざした、その人らしい生活が送ることが出来るように支援します。
- ② その有する能力を最大限に引き出し、適切な生活環境を整え、日常生活が再建できるよう支援します。
- ③ 日常生活における家事を、その心身の状況等に応じて、それぞれの役割をもって行うよう適切に支援します。

（2）個別機能訓練

常勤専従の機能訓練指導員が作成する計画に基づき機能訓練を実施

- ① 日常生活を通じた、動作・歩行・立位等の基本的訓練などで、身体・生活機能の維持・向上に努めます。
- ② 生活日課に体操・軽運動を取り入れ、心身の活性化を図ります。
- ③ 個々に適した離床の励行に努めます。
- ④ 室内・室外散歩を積極的に取り入れ、支援します。

（3）入浴・整容・衛生

- | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| ① 入浴介助 | 一般浴 | 毎週 2 回 | 個浴 | 毎週 2 回 |
| | 特浴・中間浴 | 毎週 2 回 | シャワー浴 | 希望者随時 |
- ② 体調不良等、入浴不可能者には清拭等を行います。
 - ③ 洗面・口腔清潔に対する支援をします。
 - ④ 理髪は理容室において月 1 回実施します。（料金は自己負担となります。）
 - ⑤ 清潔な衣類の着用を保つための洗濯・補修を行い、身だしなみを整える支援をします。
 - ⑥ 居室内等の環境美化に努めます。

（4）食 事

- ① 十分な栄養量を確保し、四季の食・味覚に配慮し専門の事業者へ委託します。
- ② 嗜好調査を毎年 6 か月毎に実施し、入居者の嗜好を献立に取り入れます。
- ③ 食事は毎日、朝食 7 時 45 分・昼食 12 時・夕食 18 時に提供するとともに、その心身の状況に応じて出来る限り自立して、食事が摂ることが出来るように努めます。
- ④ 献立は、管理栄養士により一週毎に作成します。
- ⑤ 検食は毎食実施し、よりよい食事を提供します。
- ⑥ 身体の状態に応じた、食事を提供します。
- ⑦ 常に適温・適冷の食事を提供します
- ⑧ おやつを提供します。

(5) 医療・健康管理

- ① 医師による、定期診療は毎週月曜日に実施します。
- ② 健康診断（結核検診）は、年1回実施します。
- ③ 施設内感染対策を徹底し、感染予防に努めます。
- ④ 体重測定を毎月実施します。
- ⑤ 薬物の服用は、医師の指示により適正に行います。
- ⑥ 検温・検脈・血圧測定を行い身体の観察により、疾病の予防、早期発見に努め、異常がある場合は、速やかに医療対応を講じます。
- ⑦ 専門的又は緊急の治療を要する場合には、医師の指示により他医療機関に受診をします。
- ⑧ 喫煙は、施設内全面禁煙とします。 飲酒については、医師等の指示がある場合以外は本人の自由裁量とします。

(6) 教養娯楽

- ① 新聞・雑誌・図書・テレビ等により、社会的知識の向上に努めます。
- ② 各ユニットにおいて、参加意思のある入居者の相互の意思疎通と創作の喜びが得られるよう支援します。

(7) 自治会活動

入居者の自治会を組織し、クラブ活動等自主的な活動を通じて、入居者間相互の親睦を深めるとともに、自立した生きがいある日常生活を支援します。

(8) 社会生活上の援助

- ① 入居者の預金の受入れ、払出しについては「利用者預金事務取扱規程」により取扱いをします。
- ② 買い物を依頼された場合は、「買い物物品依頼書」により購入します。支払い方法は別に定めるところによります。
- ③ 施設内販売は指定業者により、毎週木曜日及び金曜日に販売します。
- ④ 外出・外泊は「外出・外泊申出書」に必要事項を記載し、家族等に確認のうえ実施します。

但し、感染症の発生状況により外出・外泊を制限します。

4. 支援のための体制

(1) 各種諸行事の実施

身体機能の回復と、日常生活動作能力の向上を図るため、入居者の意向を取り入れた諸行事を実施します。

- ① 社会見学・屋外レクリエーション活動を行います。
- ② 諸行事の実施に当たっては、ユニットごとにより、各ユニットの計画及び全体の計画により実施します。

但し、各種諸行事については、感染症の発生状況により実施を制限します。

(2) 面 会

① 家族等の面会は、原則8時30分から19時までとします。

但し、感染症の発生状況により緊急やむを得ない場合を除き面会を制限します。

② スマートフォンやタブレットによるオンライン面会を事前予約により随時行います。

(3) 家族・身元保証人との連絡調整

① 生活相談員・介護支援専門員等は、面談又は電話により、入居者の現況の状態、介護計画の内容を伝え家族等の意見・希望を聞き、今後の生活支援の一環とします。

② 家族等の面会状況を把握し、長期間（6か月以上）面会も通信もない家族等に対しては、連絡の確保に積極的に取り組みます。

③ 施設の行事には、家族の参加を呼びかけます。

④ 家族等との密接な連携を図り、利用者処遇の一層の向上に努めます。

⑤ 入居者の近況をお知らせするため「みのりの里だより」を月1回発行し、ご家族に配布します。

⑥ 施設が管理している入居者預金の収支の状況を四半期毎にお知らせします。

5. サービス向上の充実

サービス評価基準による自己評価を行いサービスの質の向上を図ります。

6. 苦 情 及 び 相 談 等 の 対 応

(1) 苦情は面接、電話、書面などにより苦情受付け担当者が随時受付します。

(2) 受付けた苦情は、苦情解決責任者及び第三者委員において適正な対応に努めます。

(3) 要望等の相談についても随時受付します。

7. 情報の提供

ホームページを活用し、施設の概要をはじめ、介護サービスの内容や運営状況などの情報を提供します。

8. 地域との連携

(1) 非常災害時の安全確保

万が一火災・地震・風水害等非常災害が発生した場合、地域との連携、協力体制の下、入居者の安全確保に努めます。

(2) 家族・ボランティア・小中学生等の参加による交流会を実施し、連携の強化に努めます。

(3) 地域交流の場として、施設設備等が自由に利用できるように努めます。

但し、(2)及び(3)については、感染症の発生状況により実施を制限します。

令和6年度 特別養護老人ホーム年間行事計画

月	行 事 名	内 容	家族	備 考
4月	入居者自治会総会	役員決定・事業計画決定		
5月	芝桜見学	俱知安町の芝桜庭園を見学		
6月	共和中「職場体験」	社会人としての自立心を養う		
7月	岩内神社祭り見学	岩内神社例大祭見学と露店巡り		
8月	第1回避難訓練	地震を想定した避難訓練		
	かかし祭り見学	かかし祭り各種イベントを見学	○	
9月	敬老会	入居者の敬老を祝う会	○	
10月	カラオケ慰問	寿大学自治会カラオケクラブの慰問	○	
11月	東陽小との交流会	合唱や器楽演奏等の披露と入居者との交流		
	寿司の日・忘年会	職人が握る生寿司を堪能し、忘年会を楽しむ		
12月	クリスマス会	職員がサンタクロースに扮し、クリスマスを楽しむ		
2月	節 分	鬼に扮した職員に豆まきを行う		
3月	ひな祭り	行事食で、ひな祭りを祝う		
	百寿祝賀会	百寿を迎える入居者を祝う会	○	
	第2回避難訓練	火災を想定した避難訓練		

※ 上記年間行事計画については、感染症の発生状況により、延期や中止となる場合があります。

令和 6 年度 職員研修計画

特別養護老人ホーム

「職場外研修」

No	研 修 内 容	予 定 場 所	参加予定人数	備 考
	北海道社協関係			
1	施設相談員専門研修Ⅱ	札幌市	1名	
2	看護師専門研修Ⅰ・Ⅱ	〃	1名	
3	新任介護職員研修	〃	4名	
4	介護職員専門研修Ⅰ	〃	1名	
5	介護職員専門研修Ⅱ	〃	1名	
6	栄養士研修	〃	1名	
7	高齢者虐待防止推進研修会	〃	1名	
8	メンタルヘルス研修	〃	1名	
9	アンガーマネジメント研修	〃	1名	
	後志老施協関係			
1	施設長研修会	後志管内	1名	
2	事務職員研修会	〃	1名	
3	生活相談員研修会	〃	1名	
4	給食関係職員研修会	〃	1名	
5	直接処遇職員研修会	〃	4名	
	道及び岩内保健所関係			
1	介護支援専門員研修	岩内町	1名	
2	特定疾病・感染症等研修	〃	1名	

「職場内研修」

No	研 修 内 容	予 定 場 所	参加予定人数	備 考
1	新任職員研修	施設内	3名	
2	接遇マナーについて	〃	全職員	
3	感染症・食中毒の防止について	〃	全職員	
4	ターミナルケアについて	〃	全職員	
5	防災について	〃	全職員	
6	介護事故防止について	〃	全職員	
7	褥瘡予防について	〃	全職員	
8	高齢者虐待予防について	〃	全職員	
9	身体拘束廃止について	〃	全職員	
10	誤薬事故防止について	〃	全職員	

※上記職員研修計画については、感染症の発生状況によりオンライン開催や延期・中止となる場合があります。

令和 6 年度 みのりの里共和 事業計画

短期入所生活介護

1. 基本方針

- (1) 要支援及び要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、入浴、排泄、食事等の介助その他必要な日常生活上のお世話及び身体機能の維持・回復を図るとともに、その家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。
- (2) 地域との連携を重視し、共和町、居宅介護支援事業者、他の居宅サービス事業者、その他保健・医療・福祉サービスを提供する者との連携により、総合的なサービスを提供します。

2. 事業とサービスの提供

- (1) 特別養護老人ホームみのりの里 共和の併設事業として実施します。
- (2) 「短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護事業運営規程」に基づき、要支援状態及び要介護状態にある高齢者に対して、適切な介護予防及び介護サービスを提供します。
- (3) 利用者の処遇内容等は、特別養護老人ホームみのりの里共和のサービス提供を準用します。

3. 職員配置

- (1) 特別養護老人ホームみのりの里 共和の職員配置によります。ただし、介護職員の配置は3：1とします。

4. 事業地域・利用定員

- (1) 事業地域 共和町・岩内町・泊村・神恵内村・倶知安町
- (2) 利用定員 6名（混合型）

5. 情報の提供

ホームページを活用し、施設の概要をはじめ、介護サービスの内容や運営状況などの情報を提供します。

※短期入所の利用にあたっては、事業地域における感染症の発生状況により利用を制限する場合があります。